

平成30年10月3日
九州地方整備局
山国川河川事務所

【速報】 9月30日の大雨における耶馬溪ダム防災操作の状況について

耶馬溪ダムでは、9月30日に防災操作を行いました。

耶馬溪ダムへ流れてくる水量の一部をダムへ貯めることで、ダム下流へ流す水量を最大で約54%低減しました。

これにより、ダム下流の上曾木^{かみそぎ}水位観測所地点において、河川の水位を約42センチメートル低下させる効果があったと推測されます。

- ・耶馬溪ダムでは30日14時10分に321m³/sの流入があり、そのうち、174m³/sを貯留して147m³/sを流し、下流の水位を低減させました。
- ・耶馬溪ダム流域平均の総雨量：139.4mm（28日21時～30日16時）
- ・耶馬溪ダム流域平均の最大1時間雨量17.5mm（30日13時）

※観測所所在地

- ・上曾木^{かみそぎ}水位観測所：大分県中津市本耶馬溪町大字曾木地先

山国川河川事務所HP

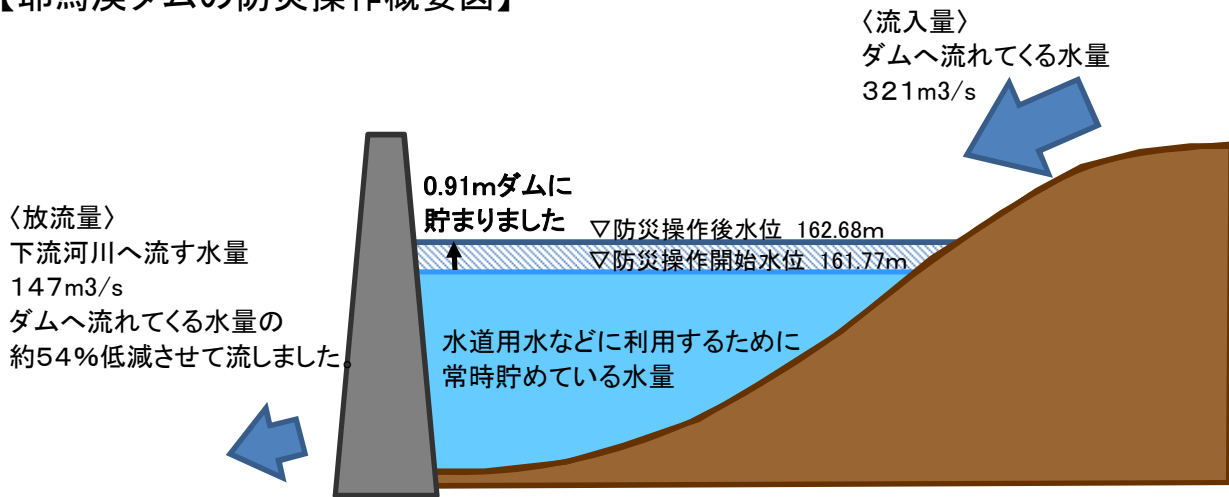
<http://www.qsr.mlit.go.jp/yamakuni/>

<問い合わせ先>国土交通省 九州地方整備局 山国川河川事務所

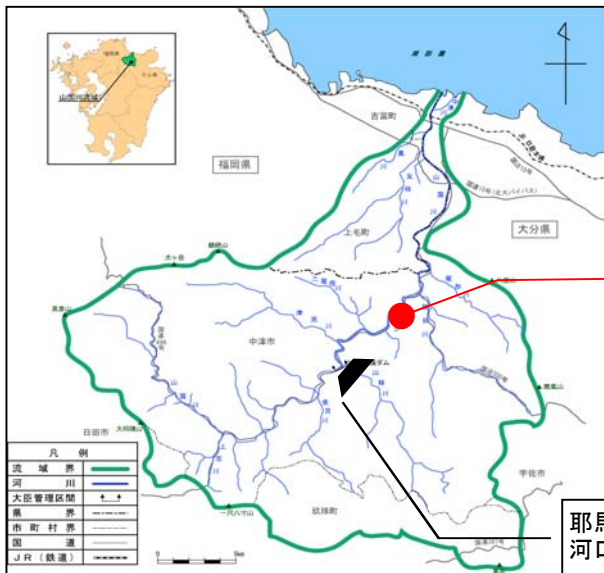
技術副所長 井上 幸治 電話：0979-24-0571

ダム管理課長 堀江 隆一 電話：0979-54-3136

【耶馬溪ダムの防災操作概要図】



【耶馬溪ダムの効果】



〈参考〉

〈ダムへの最大流入量〉
30日14時10分 321m³/s
〈ダムからの最大放流量〉
30日15時30分 251m³/s

